◇磐城名物◇

干やなぎ
塩から
御晩酌品に好適
御用命次第
廉價御提供

魚屋岡

平四丁目
丸市屋魚問屋
電話二一三番

磐城共濟 各科專門

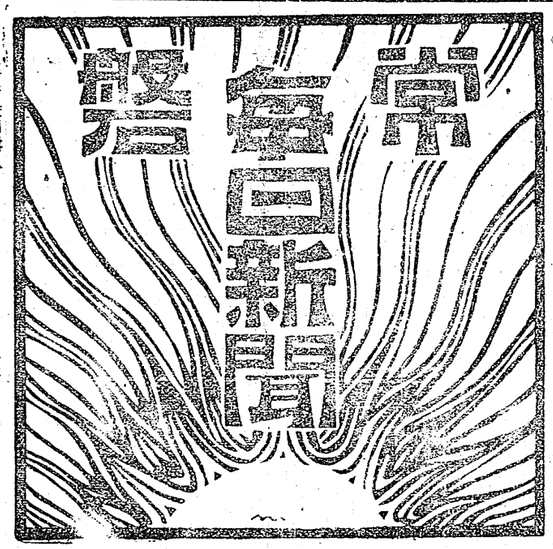
内科　醫學博士 難波睦　醫學博士 中西林藏
外科　醫學士 氏家憲介　醫學博士 桂重次
産婦人科　醫學博士 松枝茂
耳鼻咽喉科　醫學士 井上俊次郎　醫學博士 渡部貞助
×光線科　醫學博士 難波睦　技師 工藤慶造
衛生試驗所　醫學博士 中西林藏　技師 小熊英夫
藥局　藥局長 吉本孝平
本院醫事法學士 法制囑託 岡蕃
本院主事 賀澤忠治

一、衛生試驗所
一、病氣相談所
一、救療所
共濟病院内

◎共濟病院は皆さんの病院であります御氣付のことは御注意を願ひます
◎入院自炊ノ便アリ
◎看護婦見習募集

磐城共濟會
平町（電話六四一番）

（第三種郵便物認可）常磐毎日新聞（第一千七百七十八號）



十二月廿六日夕刊

定價 一部金貳錢 一ヶ月廿錢
廣告 五號十二字詰一行 一日五十錢
休刊 日曜大祭日 祝日ノ翌日
郵税五厘
福島縣石城郡平町長橋町三五 常磐毎日新聞社 電話六三〇番
發行兼編輯人 印刷人 川崎文治
本社ト同番地（電話六三〇番）常磐毎日印刷所

雄渾彪大高踏乱舞 鎧袖只一觸獨時の映畫堅陣
巍然として天空を摩し昭和五年新春初頭の巨彈一發

◇新春第一回特別大興行◇

大日活會社定期超特作人名作
◇新舊オールスター◇
◇トスヤキーダ

御所桜

前後篇全部上映

原作監督……池出富保　總指揮……池永浩久

主演者
大山嘉一郎　河本内傳次　澤田清　小島三郎　清川虎三　葛城民平　鳥羽耕一　楠木正隆　尾上菊之助　櫻井梅子　常盤貴子　伏見直江　酒井寅之助　瀬川如皐　片岡千恵蔵　櫻井孝男　澤村宗之助　德川夢聲　佐久間良子　小川眉子　伊藤大輔　吉本喜久子　松竹梅子　上原謙　みすゞ欄子　京春子　操子　長谷川一夫　其他

魅力の渦、憧憬の華、滿天下女性期待の巨篇
菊地寛氏原作　脚色野田高梧
報知新聞連載　五所平之助監督
新女性鑑　全
田中絹代・藤野秀夫
筑波雪子・結城一郎　其他

三十一日ヨリ公開
平館
協定打破本邦唯一
大破額　普通料金
元日より五日まで
晝夜二回

謹賀新年
館員一同

看護婦派出の求めに應ず
平町南町
平看護婦會
電話三〇七番

福引賣出
常盤屋
平壹電三三九

梅毒　淋病
淋病　皮膚病　婦人病
專門
十二指腸虫病
松村
胃性腸病
科醫院
平南町電話一七〇

耳鼻咽喉科專門
場所（舊診療所裏通り）
合津醫院
平町仲田町（電話五五九）

父由五郎儀永々病氣の處藥石効なく本月廿二日仙台大學病院にて死去致し候間此段御通知申上候

追て葬儀は來る廿七日午後一時自宅出棺良善寺に於て佛式を以て相營申候

昭和四年十二月廿四日

石城郡平町南町十八番地
嗣子　新妻芳夫
親戚總代　新妻金五郎
森本盛一

體溫調節、閉大藥局
寒暖計、電話三〇番

例年の通り
▼新年エハガキ
▼文字ハガキ
▼カレンダー
▼カルタ、トランプ
▼當用日記
懷中日記
マルトモ　柴田書店
平町四丁目
電話二三四番
九〇五番

御料理開業披露
此度元千代本跡に料理店を開業致しました時節柄忘年會又は新年會緊縮にふさはしきへ素を旨とする宴會等の需に應じます是非御引立下さい
平町仲田町元千代本跡（電話八二一番）
照よし

◇主治効能どんな難癒でも淋なら三日のんだらピッタリとまる
淋治新劑
トリプチン
定價　三日分　金壹圓、七日分　貳圓
トリプチン特約一手販賣店
大平屋藥店
電話六四二番
如神効驗、病苦即除、一度ためして其眞價を知るべし

押し詰つた歳末に財界不況の大嵐し

▽……損を見越して破格賣出しの狂想曲

愈々押し詰つて今年もあます處旬日に迫つた昨今平町の歳末情景は何れを見ても不景氣を物語るものゝみである、半分自棄が手傳つての忘年會がつけ元氣を見せてゐるのと商品の下落から損を見越して各商店が破格飛切りの大賣出しをしてゐるつけ景氣が物せはしい歳晩のジャズを奏でゝ居る

◇

年賀郵便の取扱成績を見ると例年の半分手具脛ひいて待つてゐる平局はがつかりした位、第一印刷屋が註文は例年の半分で、常の年なら五百枚も造つた人が今年は三百枚から二百枚でとても御話しになりませんとコボシ切つてゐる

◇

歳末になつて平町の各納税組合ではそれ〴〵決算を始めた、積立剰餘金は組合員に適當に貸付けてゐたのがこの不景氣で集金が纏まらず某納税組合では幹部が一時立替て整理をしたとの事で現在此の貸金の回收が悪く組合内で問題を起してゐる處もある、之等も不景氣を物語る材料の一つだ

◇

藏拂とか見切品とか名前をつけて大賣出し最中の平町に於ける大商店の内幕を聞いて見ると氣の毒な程例の金解禁の反響で商品類が下落して來たそれもこの先何處まで行くのか豫想もつかない處から現在持つてる品物は原價を切つても賣捌かないと此の上どの位損をするか解らないので眞實の投げ賣りを始めなければならなくなつたのである、ところが安く賣つても不景氣の爲めに今までの半分も品物が捌けないとの事

地下線の埋沒も大半は終了した

平局の電話工事

局舎新築と同時に單式から共電式にかはる平局の電話も更に架設線から地下線にと進歩し一躍仙台遞信局管内屈指のモダン局となるが目下地下線埋沒のため掘鑿中の本町通り道路も大半は工事終了したので堀り返しによる悪路は年内までの我慢となりいよ〴〵明春早々から『馬繋ぐ可からず』で馬子連を泣かせて來た電柱も逐次本通りだけは姿を消すことゝなつた

スワ一大事には直ちに非常召集

平署が消防組と協力し歳末の警戒に努力

いよ〴〵押し迫つて今年もあと六日不景氣の年末の犯罪防止に平署では消防組と協力連日非常警戒を行つてゐるが更に歳末の犯罪に備へるため歳末非常動員計畫をたて管内を三方面に分ちて警戒網を緊密にし萬一の際には警官の非常動員を行ふことになり荒井署長も警戒の第一線に立つて押し迫つた暮の大警戒に全力をつくすことになつたが最近年末多忙の外出勝ちをねらひ市内外に巣窟、窃盗及び集金員、外交員等を装つて詐欺を働くものが多いためかゝる特殊犯罪を特に警戒すると

博徒逃走す

警官に踏込れて

石城郡神谷村字向鍾田片寄藤吉（四〇）外五名が昨夜十時頃同人の家にて賭博開帳中平署の刑事に踏込まれたが五名とも戸外へ飛出し何れへか逃走したので目下捜査

示談の金が惜しい

恐かつの告訴

石城郡内郷村大字御厩字上宿六片岡甚助（五三）は此程同村上宿二百五雜貨商岡部角一郎（四五）並同人妻ヒサの兩名を相手取り恐喝の訴を平署に提起したが右告訴の理由は甚助の長女ステ（一九）假名が去る十月中平町研町飲食店谷地モト方へ雇人として働いてゐた處十一月十八日歸宅し父母の衣類八點を持出し何れへか逃走したが其後ステは前記岡部ヒサに唆かされたものと解り甚助はヒサの處に暴れ込みヒサの手に負傷させたのでヒサ夫婦が卅圓出さねば告訴すると甚助を逐に血の出る樣な金卅圓を捲き上げたと甚助は我慢がならず右の告訴に及んだのであると

幼女轢かる

自動車で負傷

石城郡湯本町字天皇崎鈴木自動車部運轉手三浦安次郎（二九）は去る二十二日午後三時半頃自動車を運轉し平町より湯本町方面へ向つて疾走中内郷村綴字堀坂に差掛つた際側より飛出した木村イツ子（一〇）を突き飛ばし左膊部に打撲傷を負はせた

町平人事

△出生

△白銀町三九　大島勝利氏三女サタ

▲死亡

△鍛冶町一　根本兼次郎（五五）

△田町七二　新妻由五郎（五四）

△櫻町三二　新妻武氏二女淑子（一ツ）

△鎌田町一　杉山ザン（四二）

福引賣出し　トキハヤ　平町一丁目

明日の天氣豫報　北東の風　朝晴れ次第に曇る

多忙な暮にも子供を忘るなる

曾我平第一校長談

押つまつて來る歳末とゝもにいづこの家庭でも非常に多忙となつて來るのですべての方面に手が届かなくなつて來る、從つて子供達までもなほざりにする傾きがあるのは一面から言へば止むを得ない事でもある

◇

これが子供達を悪い方面に足を入れさせたり不良の世界をのぞかせたりする恐ろしい原因となるのですから一般に特別な注意が望ましい、特に商店などでは店のいそがしいため勢ひ子供達の好きにさせたり、子供達をうるさがる結果、子供が要求する通りの錢を與へたり要求もしないのに無暗に與へたり夜遲くなるのを平氣にしてゐると自然に子供達に放逸と不規則とを平氣であへてする氣持を與へるものですから充分注意しなければなりません

◇

先年東京芝の放火事件なども、店がいそがしいため子供を夜おそくまで放任しておいた結果、つひに火遊びをする樣になり、それが放火騒ぎまで引起したのですから子供の放任は實例が示す通り保護者が常に留意してゐなければならない事です

◇

子供の一人歩きや群をなして街を遊び歩くなども交通の點から見ても誘惑にかゝり易い點から見てもよくないことですから歳末の多忙に取りまぎれて子供を放任しない樣家庭の細心な注意が肝要です（平第一小學校長曾我直治氏談）

募集　文藝其他投稿募集しま稿

知人の家に泊つて盗む

飯迄食つて何食はぬ顔

石城郡赤井村字赤井露店商人鈴木五佐男（二一）は去る五日平町に來り聚樂館にて浪花節を聞いての歸途知人の平町仲間町九品寺前麻裏草履商江原太市（四五）方に立寄り其夜は同人方に泊つたが夜半家人の寢鎮まつたのに乘じて箪笥の中より金側腕時計二ケ價格二十五圓及現金一圓二十錢を窃取し翌朝朝飯をたべ何食はぬ顔をして悠々立去つたが此程平署員が探知し昨日逮捕平署に留置さる

謹告

本日を以つて本年の最終刊號と爲し明日からは初刷號の準備の爲め休刊します尚ほ其間重大事件等は号外を以つて速報致します

昭和四年十二月廿六日

磐城時報社
常磐毎日新聞社